**ADMETAサテライトワークショップ2018投稿フォーマット**

○中塚理1 横川慎二2

1 名古屋大学大学院 工学研究科 物質科学専攻

2電気通信大学 情報学専攻 経営・社会情報学プログラム

E-mail: [jimukyoku@admeta.org](javascript:%20mailViewer.compose(%22jimukyoku%40admeta.org%22);)

**１．目的**

本文書は，ADMETAサテライトワークショップへの投稿原稿の作成における，フォーマットを提供するものである．本文書の内容を書き換えて，投稿原稿を準備されたい．

**２．投稿原稿の執筆要領**

投稿原稿を作成する際には，本フォーマットを用いて１段組にて作成し，分量は１ページ以内におさめること（厳守）．上記の題名・著者名・所属名称・電子メールアドレスは，本テンプレートで用いているスタイル（題名と著者名は題名スタイル）に従うこと．電話番号は必須ではない．

発表の内容を聴衆に伝えることが，投稿原稿の第一の目的であるため，内容は簡潔，かつ明確な記述が必要である．採択された原稿は，予稿集に印刷され，当日の参加者のみに配布予定である．

**３．図・表・数式について**

図表は，和文にて記述する．出現順に通し番号を付し，必ず文中で引用して「図1」「表1」と表記すること．図のタイトルは「図1　○○○」の形式で図の下部に，また，表のタイトルは「表1　○○○」の形式で表の上部に，それぞれ付与する．配置はとくに限定しないが，全体で１ページを遵守すること．ただし，投稿原稿に図表が含まれることを，採択の条件とはしない．

数式を記述する場合は，式自体を可能な限りセンタリングすること．さらに，出現順に通して式番号を右揃えにて記し，すでに記述した式を文中にて引用する場合は「式1」のように表記する．

**４．投稿の方法について**

作成した投稿原稿は，pdfファイルの形式で，電子メールに添付してADMETA事務局まで送付すること（jimukyoku@admeta.org）．その際，発表番号やページ数をヘッダやフッダを追加するため，パスワードをかけずにpdfファイル化すること．

**謝辞**

必要に応じて，謝辞を示して良い．

**参考文献**

1. T. Admeta and J. Amc, Jpn. J. Appl. Phys. 43 (1998) 123.
2. J. Ssdm, Extended Abstracts of the 2018 International Conference on Solid State Devices and Materials (1999) 456.
3. A. Iitc and Y. Iedm, Advanced Metallization and Interconnect Systems for ULSI Applications (2000) 789.

表１　表の例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |



図１　図の例